	No. 4 -	1 基本事務事	業名自	<b>訂官募集</b> 事	<b>事務</b>	事務事業	業名 自衛	盲官募集事務	务		公的関与 1	シ・	- 卜作成日	平成24年	₹7月6日
	部局名		総務部		課名	防災対策	<b></b>	主務課長	長名	高	島 輝人	シー	·卜作成者名	有	井 憲一
	事業区分	● 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務事	業	5 補助3	金·負担金·	支援	車茶油	堂方法	1 直	曾	3 至	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務·そ	· の他	尹未坦	吕万広	2 —	部委託	4 补	助等
		基本構想(政		当なし				実施計画				事業	の開始・終り	7	
	総合計画	基本計画(施					0	1 該当		平成	年 ~	- 平/	式 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策					<b>O</b>	2 非該当		根拠》	去令等 地	方自治	法、自衛隊法	į.	
		対象(誰を、 何を)	就学·就	業適齢者(	各募集種目の資格	者)									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	自衛官募	集に関する国民の	理解を深め	め、自衛官	宮の人材確保	を目的と	:します。					
P L		たいのか)	今年度	自衛官に	対する理解を深め、	自衛官等	の受験者	音を増やし、自	衛官の	人材確何	呆を目的とし	ます。			
Α		具体的にどの	りようなシ	舌動を行い	\ますか。(主なも	の5つまで	で)								
Ν		阿波市ケ	ーブルテ	レビ及び広	報誌による募集広	告の掲載									
	事業の	自衛官募	集ポスタ	一の掲示											
	活動内容	入隊者へ	の激励会	会の開催											
		指標名			は指標設定理由	単位		平成 22			平成 23 年		平成 24		最終目標
	数値目標	自衛官候補生			により広報活動の	人	目標			10		10		10	
	(事業の目的	(阿波	中)	成果を図		,	実績			5		6			
	及び活動内	自衛官等入隊	者	入隊者数	により自衛隊募集	人	目標			2		2		3	
	容の達成度 を測る指標)			活動の放	果を図るため	, ,	実績			2		2			
	CM CIGIN)						目標								
	予算費目	会 計		向几,	会計	款	実績 2 総系	夕弗		百 4	総務管理費	<b>.</b>	目   7	□主×弗	
	<b>丁</b> 异頁日	표 리	िरा			平成	2   総分	<sup>所買</sup> 年度決算	平瓦	項 1	総務官珪章    4  年度		/	備考	
		国庫支出		-13X, Z	54 千円	T11X	20	<u> </u>		χ, 2		<u>」,并</u> 2 千円		(用・5	
		県支出	金		0 千円			<u> </u>	_			千円			
		地方	債		0 千円			 于F				千円			
D	直接事業費	その他特定則			0 千円							千円			
ō		一般財	源		2 千円			3 <del>↑</del> F			18	3 千円			
		計(A)			<u>56</u> 千円			30 <del>↑</del> F				<b>)</b> 千円			
		正職員工数・	経費 0	.004 人	25 千円	0.004	人	<b>24</b> 千F		)4 人		4 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯													
		臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	<b>0</b> 手F	∃ 0.00	00 人	(	7 千円			
	全体事	業費(A + B)			81 千円			<b>54</b> 千F	9		64	4 千円			

					チェ	ック項目					_	次評值	<b>T</b>		_	-次評価(	の説り	明		二次	.評信	<u> </u>
		1 .						が確保できる等 <u>/響は大きくた</u>		0	少ない	•	大きい		自衛官の です。	人員確保	のた	め必要	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	伏況σ	中、次年	=度以降実	施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある						0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手段	段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの上回るサー				[隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない						0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	₹が必	ずしも適切と	<b>はいえない。</b>	0	いえない	1 •	いえる			ーブルテ し募集広			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ	化など、旅	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1	いえる	U	しています	す。また平	成2	3年度で	0	いえない	•	いえる
С	性	3 .	市が実施する	る施策	その中で 類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない			ンフレット に募集活			0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続	をして	も成果の	向上が期	待て	ごきない。		0	できない	1 •	できる	ē	ました。				0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して	進捗状況	ひが劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて針	合っている			の阿波市 は目標2			0	目標に比 <sup>・</sup>	べて劣	うっている
	達	2 .	目標設定に対	対して	成果があ	まり上が	「って	いないと思う	Ò.	0	あまり上	がってい	ない	1	名の入隊	ですので			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	対して	概ね目標	悪を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	13	,	います。				•	概ね達成	してい	ið.
		4 .	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	tして	いると思う。		•	十分達	成してい	13						0	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べる	てコス	くトが高い	١.				0	高い	•	適当			る委託事余地はあ			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主任	本のノ	/ ウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない		I 円5//%(V)	1. 2 E 10 W	7 & C	2700	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果	見の関係で	ご、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法	もの変更な	こどにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							次評									_	次評		•			
	評値	点面	必要性	1	<b>与</b> 効性	達成原	芰	効率性	総合評	<del>'</del> 価		必要	性	有	効性	達成人	芰	効率性	生	総	合評	严価
	今後	後の		実	<b>4</b> ● 現状	<u>4</u> 		<u>        4         </u> 方法改善	○ 民間委i	托等			 大·充実	<b>Z</b>	<u>4</u> ● 現状	<u>3</u> ₹維持		<u>4</u> 方法改善	<b></b>		A 引委	 託等
Α		9性		0	統合/終			廃止/休止				) 縮/			<del></del>			廃止/休	-			
C														次記	平価での	指摘事耳	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	Į.	
T	当間課	題	自衛官募集	事務を	今後も行	い人員を研	雀保に	こ努めます。														
0											<b>—</b> 市	の広幸	は 媒体を	E活月	用し、有効	かな広報を	行っ	て下さい。				
Z			自衛官募集瓜	<b>広報</b> 活	動を行い	ます。																
		員会 事項																				

	No. 4 -	2 基本事務事業名	交通安全対	策事務	事務事業	名 チャ	イルドシート購ん	入費補助事	業 公的関与 9 シ	一卜作成日 平成24	年7月6日
	部局名	総	務部	課名	防災対策	課	主務課長領		高島 輝人 シー		本 憲二
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事業</li></ul>		3 経常的事務事			金·負担金·支		7曲 'ロ' ト 'ナ		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事		4 施設の維持管理	里 0 6	内部管	管理事務∙その	)他	2 –		補助等
		基本構想(政策)					実施計画			の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策)		ѝ⋅防犯体制の充実	2	0	1 該当	平成			聞設定なし
		主要施策	(1)交通安全	全意識の高揚		<b>O</b>	2 非該当	根挑	心法令等 阿波市チ	ャイルドシート購入補助3	全交付事業要綱
		対象(誰を、 何を) 購 <i>)</i>	∖日及び申請日 ——-	]に阿波市の住民でる	ある満6歳の	)乳幼児	見とし、その乳幼	児と同居す	る者がチャイルドシー	ト購入した場合	
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最終)	終的阿波市を	担う乳幼児を交通安	全による死	傷から	守るため。				
P L			年度 このチャ	イルドシート購入補助	力事業をより	多(の)	方に利用してい	ただくため、	広報等を行い制度を	周知する。	
ΑZ				ハますか。(主なもの							
Ν		チャイルドシ-	- ト購入補助金	として購入金額の22	分の1(5,0	00円	艮度)を補助				
	事業の										
	活動内容										
		151= 5	1 + 1 feeter 12 a		W 45			<b>-</b> →			
		指標名		又は指標設定理由	単位	□ <del> </del>	平成 22	年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標
	数値目標		指標設力	ミになじまないため 		目標					
	(事業の目的		設定しる	. U <sub>0</sub>		実績 目標					
	及び活動内 容の達成度					<u>日际</u> 実績					
	を測る指標)					<u>天阀</u> 目標					
						<u>日源</u> 実績					
	予算費目	会計	— 舣	会計		2 総務	<u> </u>	項	1 総務管理費	目 5 交通安	全対策費
				22 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年度予算	備考	
		国庫支出金	i	千円			千円		千円		
		県支出金		千円			千円		千円		
	直接事業費	地 方 債		千円			千円		千円		
D	且汉尹未貝	その他特定財源		千円			千円		千円		
0		一般財源	į	654 千円			547 千円		700 千円		
		計(A)		<b>654</b> 千円			<b>547</b> 千円		700 千円		
		正職員工数·経費		613 千円	0.100 人		604 千円	0.100 人	596 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種									
	A /1 == \	臨時·嘱託工数·経費	0.000 人	0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人			
	全体事業	業費(A + B)		1,267 千円			1,151 千円		1,296 千円		

				チェ	ック項目					_	·次評	価		_	-次評価	の説明	月		二次	評価	Ī
		1 .	市が実施しなく主体があり、						0	少ない		大包	きい	チャイル 支援する				0 4	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状況	兄の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない		ある	3	けでなく「 も結びつ				O 7	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の向し	上のために、ヨ	見在の手段	、方法	去等の改善の名	余地がある。	0	ある	(	ない	١	で給いり	\U) C必3	<b>左</b> €9,	)	0 8	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの(上回るサービ			隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	(	いた	î l l					Ο ι	113	•	いない
		1 .	施策の目的を実現	現するために、	事業内容	が必っ	ずしも適切とは	<b>はいえない。</b>	0	いえな	11	いえ	ia	チャイル をする保				Ο ι	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマンネ	なり化など、施	策への貢献	献度が	著しく高いと	はいえない。	0	いえな	11	いえ	i a	減してい	ると思われ	れ、今往	复もこの	0	ハえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施するが	施策の中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	(	しな	î l l	事業を継	続してい	さより	0	0 7	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続をし	しても成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	11	でき	§ 3					0 -	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対し	して進捗状況	が劣って	いる。	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる	補助金交 務なので				0	目標に比り	べて劣	っている
	達成	2 .	目標設定に対し	して成果があ	まり上が	ってし	いないと思う	ö.	0	あまり」	上がって	こいない		方にこの	制度を利	用して	いただく	O a	あまり上が	ってい	ない
	皮度	3 .	目標設定に対し	して概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	成して	์เาอ		ため、広	報等によ!	)周知	します。	• #	既ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対し	して十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達	<b>感成して</b>	こいる						O -	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べてこ	コストが高い	٥				0	高い	(	適	当	チャイル   みても補				O i	高い	•	適当
	効 率	2 .	他の実施主体の	のノウハウや	新たな制	度を済	活用できる。		0	できる	(	でき	ない	だと思うの				0 -	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員とほ	成果の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	(	ない	١	ません。				O 7	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約ス	方法の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	(	ない	١	Ĭ				O 7	ある	•	ない
						次評值										次評					
	評值	点点	必要性 4	有効性	達成度	₹	効率性 4	総合評	[個			要性 4	1	与効性 4	達成. 3	度	<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	ŧΩ	<u>+</u> ○ 拡大·充実	•		07	<del></del> 方法改善	○ 民間委i	托等	(		<u>*</u> 広大・ダ			<u></u> 状維持		<del>4</del> _ 方法改割	Ē		<u>^</u> ]委i	 £等
Δ		引性		○ 統合/終			廃止/休止					小		統合/終			廃止/休	_			
C			-										二次	評価での	指摘事	頁及し	アンドラス	価との	)相違点	Ţ	
T	当武課		この制度を多くの	の方に利用し	ていただく	ため	に、広報等を行	テい周知します	۲.												
0										=	-+1	ロルドミノ・	_ <b>ს</b> ტ	普及拡大	に向け 3	事業を	継続して	エオい			
Ν	改革と実		交通安全のため	りのチャイルド	·シート購 <i>ノ</i>	入補助	力制度を継続し	ン <b>ていきます</b> 。		ľ	, , ,		1 02		101 317( -	- A C	MENOU O	, ,	0		
	計							- · V													
	委員 指摘	€会 事項																			

	No. 4 -	3 基本事務事業	名 交通	<b>全文</b> 分	策事務	事務事業	名 交通	<b>通指導員業務</b>		公的関与	4 シ	一卜作成日 平成24	1年7月6日
	部局名	×	総務部		課名	防災対策	5課	主務課長	名	高島 輝人			本 憲二
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金·負担金·支		美運営方法	1 直		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務∙その	D他 Fr	建百万亿	_ 2 —		補助等
		基本構想(政策						実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策			・防犯体制の充乳	実	0	1 該当	平月		~ 平		間設定なし
		主要施策	(1)	交通安全	意識の高揚		<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等	阿波市交	通指導員規則	
		対象(誰を、 何を)	€徒、児:	童、園児、	市民								
		目的(どうい <mark>5</mark> う状態にし	晨終的	交通指導	[員を配置することに	こより、通学	≌路の安≨	全を確保すると	ともに、ドラ	イバーに対し	ても交通を	安全意識を高めてもら	<u></u>
P L			今年度	交通指導	日を増すとともに児	<b>電に対す</b>	る呼びか	けを行い、交通	マナーを習	習得してもらうる	ことで安全	に通学ができる環境作	乍りを目指す。
AN					\ますか。(主なも		,						
Ν					て交通安全のため」								
	事業の	交通指導員	が活動	しやすい	環境を整えられるよ	う支援する	5.						
	活動内容												
		指標名		<b>共管十</b> 7	スは指標設定理由	単位		平成 22	年	平成 23	午 庄	平成 24 年度	最終目標
			- /- +	可异环之	くは相信設定理由		目標	十13人 22	十反	十112、23	十反	十八 24 千良	取終日伝
	数値目標 (事業の目的	指導員が交通指導を 年間延日数	<u>*</u> 1丁フ <i>に</i>			日	<u> </u>		484		320		
	及び活動内						目標		.0.		020		
	容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会計			会計	款	2  総別		項	1 総務管理		目 5 交通安	全対策費
				成 2		平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算	備考	
		国庫支出:			千円			千円			千円		
			金		千円			千円			千円		
	直接事業費		債		千円			千円			千円		
<b>О</b> О		その他特定財			千円			千円			千円		
U		<u>一般財</u> 計(A)	源		392 千円			294 千円			892 千円		
		正職員工数・経	费 ○	004 人	392 千円 25 千円		<b>A</b>	294 千円 24 千円	0.004		392 千円 24 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職和		JU4 八	ZJFD	0.004	八 <u> </u>	<u> </u>	0.004	^\	<b>∠</b> ₩   []		
	/\II (U)								0.000	1			
		臨時·嘱託工数·経	費 ().(	人 000	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	Λ Ι	0 千円		

				-	' <b>与 T</b> 西 C						^/左 ☆亚 .	/ж			が無性を	<b>√</b> ± ⅓ ⊓[	-		— \ <i>h</i>	±π /≖	
					・ェック項目						次評	Щ			-次評価σ		_		二次	計1四	
		1 .					が確保できる等 <u></u> ど響は大きくな		0	少ない	•	大きし	l I	市の責務	(から市民で うであり、事	故防	止のた	O :	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中、次	年度以降	実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある			的に活動し 導員を支援				ない	•	ある
	性						法等の改善の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	•	ない		妥当であ		270	CCIA	0	ある	•	ない
		4 .		の低下がみら <mark>ビスとなって</mark>		丘隣自	自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない	۱,					0	いる	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が必	がずしも適切とに	<b>はいえない。</b>	0	いえな	11	) いえる	3		員がいな   生件数が			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	۱۱ <b>©</b>	) いえる	3	懸念され		H/L o	JCC/J.	0	いえない	•	いえる
С	性	3 .	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	に事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	١,					O .	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続を	をしても成果	の向上が	期待で	できない。		0	できな	۱۱ <b>©</b>	) できる	3					O .	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して進捗な	t況が劣っ <sup>7</sup>	ている	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	3		員により生 全が守らね			0 1	目標に比り	べて劣	っている
	達成	2 .	目標設定に対	対して成果が	があまり上れ	がって	ていないと思う	Ö.	0	あまり」	上がって	いない			ています。	000	12 9 07	0 7	あまり上が	ってい	ない
	度	3 .	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	してし	ると思う。		0	概ね達	成して	113						• †	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に	対して十分に	目標を達成	せして	ていると思う。		•	十分達	成して	いる						0 -	十分達成	してい	გ
		1 .	効果に比べて	てコストが高	<u></u> ξι ۱。				0	高い	•	適当			間程度の 季節等に			O i	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主任	体のノウハウ	や新たな	訓度を	を活用できる。		0	できる	•	できた	はい	導にあた	っているこれはない	とを考		0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果の関係	で、実施	手段等	<b>等を見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない		月川県りか	:1619'A' I	C 9 .		0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の変更			スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない							ある	•	ない
					-	·次訊	严価								_;	欠評(	西				
	評値	点面	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	′価		必要		有	与効性	達成度	ž	効率	生	総	合評	価
	A /	<i>''</i> -	4	4	4	Ι 🙃	<u> 4</u>	A	- T Pope		4		<u> </u>	<b>4</b>	3		<u>4</u>	_		<u>A</u>	~ /*/*
		後性	○ 拡大・発		以維持 終期設定	0		〇 民間委託	t寺 ——		<ul><li>拡</li><li>縮</li></ul>	大·充	<b>天</b>	<ul><li>○ 現物</li><li>統合/終</li></ul>			方法改善 廃止/休	-	○ 民間	委記	t寺 ———
A	711.	-) IX			<b>於於加以及</b>		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					<u>,, i</u>	)		指摘事項				D相違占	<u> </u>	
C	ᅶ	面の								IJ	音: 4				確保の観点						<u> </u>
Ī	講		交通指導員(	の増員、人員	の確保が早	急な	課題です。								の意見を						
0	H.	,																			
Ν	改革	案																			
			交通安全対策	策のために、	交通指導員	の育り	成及び充実を図	図る必要があり	ます。												
	計	画																			
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. 4 -	4 基本事務事	業名交通	至全対策事	務	事務事業	業名 交通	通安全母の会	補助事業	公的関	5 4 シ	ート作成日	平成24	年7月6日
	部局名		総務部		課名	防災対策	策課	主務課長	名	高島 輝人	シー	- 卜作成者名	藤	本 憲二
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		怪常的事務事		5 補助3	金·負担金·支	援 事	業運営方法		営	3 :	全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			施設の維持管理	里	6 内部	管理事務・その	D他 T	未连占刀仏		·部委託	✓ 4 7	補助等
				安全・安心の				実施計画				の開始・終了		
	総合計画				が犯体制の充実	<b>E</b>	0	1 該当		成年				間設定なし
		主要施策	(1)	交通安全意	識の高揚		<u> </u>	2 非該当	杜	拠法令等	阿波市交	通安全保持に	関する条	€例
		対象(誰を、 何を)	阿波市交	通安全母の会	<b>全連合会</b>									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	交通事故のな	い住みよい町つ	づくりの実	現を目指	iします。						
P L		たいのか)	今年度	交通安全運動	かを通して、市民	の交通安	そ全意識 <i>の</i>	の高揚を図り、3	交通事故を	防止する。				
A														
Ν		阿波市交	通安全母	の会連合会^	<補助金交付を	テいます。	ı							
	事業の													
	活動内容													
		TK T# 7	<del>-</del>	+1 65 <del>-1</del> 5 -1 -1-	. K. 1= + 1 ← 1 m - 1	W / <del>L</del>	ı	T = + 00	左京	TI # 04		<del></del>	<i>F</i>	
		指標名	<u> </u>	計算式又は:	指標設定理由	単位	□ +m	平成 22	牛皮	平成 23	许度	平成 24	年度	最終目標
	数值目標	団体が実施した活	5動事業数				目標 実績		13		15			20
	(事業の目的 及び活動内	四次十十六字末+					目標		13		13			150
		阿波市内交通事故 数	以(人身)件			件	実績		270		252			100
	を測る指標)						目標		210		202			0
		阿波市内交通死T	二事故件数			件	実績		1		3			<del> </del>
	予算費目	会 計		一般会記	†	款	2 総	务費	項	1 総務管	理費	目 5	交通安	全対策費
			平	成 22	年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 f	F度予算		備考	
		国庫支出			千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	且以于未具	その他特定則			千円			千円			千円			
0		一般財	源		230 千円			230 千円			230 千円			
		計(A)			230 千円			230 千円		<del> </del>	230 千円			
	L 101 = 11 / 5 :	正職員工数・網		004 人	<b>25</b> 千円	0.004	人	24 千円	0.004	人	24 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託贈		200	0 1	0.000			0.000	1	0 -			
		臨時·嘱託工数·	<b>経費</b> ().	000 人	0 千円	0.000	<u>人</u>	0 千円	0.000	人	0 千円			
	<b>★ 全 体 手</b> 第	業費(A+B)			255 千円			254 千円			254 千円			

				チェ	「ック項目					_	次評	価			一次評価	の説	明		二次	評個	Į.
		1 .					、確保できる等 後響は大きくな		0	少ない	•	大き	١١	市の責	故から市目 務である∂	つで、そ	の事故		少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	状況の中、次年	<b>丰度以降</b> 実	施す	る緊急性が認	3められない。	0	ない	•	ある			ために交通 に推進する			0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段	<b>设、方</b>	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	•	ない			が支援する			0	ある	•	ない
		4 .		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いな	l I	あります	す。 			0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	ぎが必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	1 •	) いえ	3		を中心とし 進が行わる			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化など、)	施策への貢	献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 0	いえ	3	校、保	育所等で有	効なる	交通安全	0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなり	11	息識の	向上が行る	DIIC	いより。	0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	ぎきない。		0	できない	1 •	でき	3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	北べて	劣ってい	13		補助金でi ますので、			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果がる	あまり上か	「って	いないと思う	Ö.	0	あまり上	がって	いない			ています。	1 /11/	. 口 1示に	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成して	ハる						•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い	•	適当	á		全団体はその運営を			0	高い	•	適当
	効 率	2 .	他の実施主体	<b>ホのノウハウ</b> ⁴	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき;	ない	とは必	要であるた	めコス		0	できる	•	できない
	坐性	3 .	予算・人員と	こ成果の関係 つ	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない		余地は	ありません	<i>)</i> 。		0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	的方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余地	かある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						次評										二次評					
	評値	点	必要性	有効性	達成原	甚	効率性 4	総合評	<del>"</del> 価		必要		1	<mark>与効性</mark> 4	達成 3		<u>効率</u> (	生	総	合評	·価
	今後	ÉΦ			•		<del></del> 方法改善		托等			大·充	実		<u> </u>		<del>4</del> 方法改善	<b>善</b>		_ <u>^</u> 引委記	 托等
Α		引性	○ 縮小		期設定		廃止/休止		_		縮	_		統合/	終期設定		廃止/休				
C				•											の指摘事						
TIO	当課	面の 題	他交通関係団	『体と連携し、i	通学路にお	ける	立哨範囲を増 <sup>・</sup>	やす必要があり	ります		.重・愿 い。	児の治	父迪3	女全の7	きめ、母の:	会の取	(リ組みは	大切「	です。事う	€を糾	₺続してト
Z	改革と実計		今後は各関係 す。	系団体と連携し	、より効果	的な3	交通安全対策》	活動の実施を	目指し	<b>一</b> たま											
	委員 指摘	員会 事項																			

	No. 4 -	5 基本事務事	業名交通	至全対策	策事務	事務事	業名 交通	<b>五安全協会等</b> :	負担金事	務 公的関	5 4 シ	ート作成日	平成24年	<b></b>
	部局名		総務部		課名	防災対策	策課	主務課長行	名	高島 輝人	シー	- 卜作成者名	藤	本 憲二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事		5 補助3	金·負担金·支	援	業運営方法		営		≧部委託
	争未区刀	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務·その	D他 事	未建品刀広		·部委託	✓ 4 有	助等
					ふのまちづ(り			実施計画				の開始・終了		
	総合計画				・防犯体制の充	実	0	1 該当	平					設定なし
		主要施策	(1)	交通安全	≧意識の高揚		<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等	阿波市交	通安全保持に	関する条	例
		対象(誰を、 何を)	阿波市交	通安全教	<b>「育推進協議会、阿</b>	波市交通:	安全協会、	阿波地区交通	<b>通安全活動</b>	)推進委員協	議会			
		目的(どうい う状態にし	最終的	交通事故	のない住みよい町	づくりの実	現を目指	します。						
P L		たいのか)			:啓発活動を通して			方止し、市民の3	交通安全	意識の高揚を	図ります。			
Α					/ますか。(主なも		で)							
Ν		各阿波市	交通安全	推進団体	へ負担金交付を行	います。								
	事業の													
	活動内容													
		指標名	7	1. 公十.	7.1+比描50字现由	単位		平成 22	左庇	平成 23	) 任 庄	ज <del>।</del> 24	左庇	最終目標
		<b>打日</b> 作示す		司异环》	ては指標設定理由	半世	目標	十八人 22	十反	十八人 20	) 牛皮	平成 24	牛皮	取於日信 200
	数値目標	団体が実施した活	動事業数				実績		180		180			200
	(事業の目的 及び活動内	阿波市内交通事故	加川魚				目標		100		100			150
		数	K(VA)IT			件	実績		270		252			100
	を測る指標)					<i>u</i> i	目標							0
		阿波市内交通死T	二事故件数			件	実績		1		3			
	予算費目	会計		一般	会計	款	2 総別	务費	項	1 総務管	理費	目 5	交通安全	全対策費
				·成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 f	F度予算		備考	
		国庫支出			千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地方	債		千円			千円			千円			
D		その他特定則			千円	1		千円			千円			
0		一般財	源		4,210 千円			4,210 千円			1,210 千円			
		計(A) 正職員工数・	汉弗 △	012 人	4,210 千円		1	4,210千円73千円	0.012		<mark>1,210</mark> 千円 <b>72</b> 千円			
		监時·嘱託暗		012 人	<b>74</b> 千円	0.012	<u> </u>	13 十円	0.012	<u> </u>	72 干的			
	<b>人</b> (生費 / R )													
	人件費(B)	臨時·嘱託工数·		000 人	0 千円	0.000	λ .	0 千円	0.000	λ	0 千円			

						5 75 🗆						\ <i>L</i> ÷π /	/ш			<b>&gt;万</b> ☆亚 /亜 /	▷ 구자 □			- >-	±क /з	F
						:ック項目					_	次評				-次評価の				二次	評個	4
								が確保できる等 <u>/響は大きくな</u>		0	少ない	•	大き	11		から市民 であるの			0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況	の中、次年	F度以降実	(施す	「る緊急性が認	ぬめられない。	0	ない	•	ある			めに交通 推進する			0	ない	•	ある
	性							法等の改善の急	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	•	ない		体を市が	支援する			0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ <u>上回るサー</u>				[隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	) いな	l I	あります。				0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現	するために	、事業内容	子が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえなり	,1 (	いえる	る		団体にお			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマ	ンネリ	J化など、カ	施策への貢	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	۱,۱	いえる	る		対でありま		.00.76	0	いえない	•	いえる
С	姓	3 .	市が実施す	る施	策の中で舞	頁似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	l I					0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続	をし	ても成果の	D向上が期	待て	できない。		0	できなり	,1 •	) できる	გ					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対し	て進捗状況	兄が劣って	. l l Z	らと思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	13		動が出来 標に達成			0	目標に比り	べて劣	うっている
	達成	2 .	目標設定に	対し	て成果があ	あまり上か	べって	こいないと思う	ò.	0	あまり上	こがってし	いない		C1M.1& C	保に圧水	U C 0.	,,,,,	0	あまり上が	ってい	ない
	皮度	3 .	目標設定に	対し	て概ね目標	票を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に	対し	て十分に目	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	i3
		1 .	効果に比べ	てコ	ストが高い	١٠				0	高い	•	適当	í		:団体はボ の運営を3			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体の	ノウハウヤ	か新たな制	度を	E活用できる。		0	できる	•	でき7	ない	とは必要	であるため			0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員	と成	果の関係で	で、実施手	段等	<b>ទを見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない		ます。				0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方	法の変更な			スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	価									次評	価				
	評値	点点	必要性		有効性	達成	茰	効率性	総合評	7価		必要		1	与効性	達成原	Ž	効率性	生	総	合訊	<del>'</del> 価
			4		4	3		4	A	~ ~~		4		<u> </u>	4	3		4	_	<u> </u>	<u> </u>	~ ~~
		後の	○拡大・変		● 現			方法改善	〇 民間委託	<b>北寺</b>			大·充			<b>大維持</b>		方法改善			]委	<b>七寺</b>
Α	力ド	9性	○ 縮小	0	統合/終	期設正	0	廃止/休止			(	) 縮	•		統合/終 評価での			廃止/休		り担治し		
C	\L-		// <del></del> >200/	/ 1		>=	^				<del>_</del>	- <b>ロ</b> ナ ء			お守るため							生! テロ
TI								:活動をより広い 高める必要があ		行つ			父理 <del>事</del> 「さい。	收入八	らするにの	り、父理女	王加.	体への文	(抜は)	必安で9	。紅土	炉し (美
0																						
N	改革と実	案	今後は各関	係団(	体と連携し	より効果	的な	交通安全対策	活動の実施を	目指し	Jま											
	計		す。																			
	委員 指摘	員会 事項																				

	No. 4 -	6 基本事務事	業名消	方防災事務	务	事	事務事業	名 消防	出初式			公的関与	4 シ	ート作成り	3 平/	<b>龙24年</b>	7月6日
	部局名		総務部		課名	ß	方災対策	課	主務課	長名	Ę	高島 輝人	シー	-卜作成者	i名	松村	<b>対</b> 栄治
	事業区分	<ul><li>● 1 ソフト</li></ul>	事業		3 経常的事務			5 補助3	全・負担金・	支援	車架	運営方法		営			部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	0	6 内部管	管理事務・		型表	连百刀仏		·部委託		4 補	助等
					いのまちづくり				実施計画	Ī				の開始・約	終了		
	総合計画	基本計画(施			災体制の充実	:		0	1 該当		平成		~ 平	成	年 🔽	期間	設定なし
		主要施策	(1)	消防団の	)活性化			<b>O</b>	2 非該当		根抄	弘法令等					
		対象(誰を、 何を)	消防団員	i·市民													
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	年初に消	防団出初式を開	開催し、	消防団	員の士気	で高めると	ともに、	、広〈市国	ミへ消防力を	·周知しま <sup>·</sup>	<del>す</del> 。			
P L			今年度	年初に消	防団出初式を閉	開催し、	消防団	員の士気	で高めると	ともに、	、広〈市国	ミヘ消防力を	·周知しま <sup>・</sup>	<del>す</del> 。			
AN					\ますか。(主な	なもの	5つまで	(1)									
Ν		消防団関															
	事業の	消防、防药	災に貢献	のあった者	iの表彰												
	活動内容																
		1K.1#.7	7	1 ± 1 6/5 <u>- 1</u> 5 =	7 1 <u>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	n	w / <del>-</del>		l <del> </del>	· -	r <del>i.</del>			<del></del>	0.4 Æ	<del></del>	
		指標名	<u> </u>		ては指標設定理		単位	□ +m	平成 2	22 年	[ ]	平成 23	牛皮	半风	24 年	<u></u>	最終目標
	数値目標			指標設定  め、設定し	になじまないた		-	目標 実績									
	(事業の目的 及び活動内			め、政定し	7,4,11			_ <del></del>									
	及び活動内 容の達成度						-	<u> </u>									
	を測る指標)							_ <u>~~~</u> 目標									
							-	実績								_	
	予算費目	会 計		一般:	会計		款	9 消防	費		項	消防費		目	1 非	常備消	防費
			平	成 2:	2 年度決算	算	平成	23	年度決算	Ī	平成	24 年	度予算			睛考	
		国庫支出			=	千円			Ŧ	·円			千円				
		県 支 出	金		=	千円			Ŧ	円			千円				
	直接事業費	地方	債			千円			Ŧ				千円				
D	丘汉于未兵	その他特定則				千円			Ŧ				千円				
0		一般財	源		27 =				28 ∓	_			50 千円				
		計(A)	.7 # -	200 1	27 =		2.25		28 <del>T</del>				50 千円				
	1 /4 # / 5 >	正職員工数・網		083 人	508 <sup>=</sup>	千円	0.083	人	502 <del>⊺</del>	·円 C	0.083 人		<mark>495</mark> 千円				
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000   1			0.000		^ -		2.000		0				
	△/★車÷	臨時·嘱託工数·	<b>経</b> 質 0.	000 人	0 =		0.000 ,	<u> </u>	0 <del>T</del>		0.000 人		0 千円				
	王仰争	業費(A + B)			535	十円			<b>530</b> 千	H			545 千円				

					チェ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価の	の説	明		二次	:評值	Б
		1 .						が確保 <mark>できる</mark> 等 が響は大きくな		0	少ない	1	大き	きい	果たして	において いる消防I	可員0	D士気高	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政料	犬況の中、	次年	度以降実	€施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	(	ある	3	揚を図る	上で重要を	な事業	業です。	0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上のため	りに、ヨ	見在の手具	<b>殳、方</b>	法等の改善の	余地がある。	0	ある	(	ない	١	Ĭ				0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート				「隣自	治体と比較し	J てニーズを	0	いる	(	いな	î۱۱					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現するた	こめに、	事業内容	字が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	:11	いえ	ia		)開催によ 3団員の交			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ソネリ化な	ど、施	策への貢	献度加	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	:61	いえ	i a	功労表彰	/を行うこと	によ	り、団員	0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策の中	中で類	似・重複	夏した	事務事業が存	存在する。	0	する	(	しな	î l l		の更なる 効性のあ			0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続で	をしてもほ	成果の	向上が期	月待て	ごきない。		0	できな	11	でき	§ 3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して進打	步状況	が劣って	こいる	らと思う。		0	目標に	比べて	劣ってに	いる		気が向上 図旨を十分			0	目標に比	べて劣	うっている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成身	果があ	まり上か	バって	いないと思う	Ò.	0	あまり_	上がって	こいない		す。	EHEIM	迁戍	0 (112	0	あまり上が	ってし	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね	2目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね道	を成して	いる						0	概ね達成	してい	. a
		4 .	目標設定に対	付して十分	分に目	標を達成	なして	いると思う。		•	十分遺	達成して	こいる						•	十分達成	してし	13
		1 .	効果に比べる	てコストか	が高い	o				0	高い	(	適当	当		:事業であ 費では、同			0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主体	本のノウノ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	(	でき	きない	他事業で	は見いだ			0	できる	•	できない
	率性	3 .	予算・人員の	ヒ成果の間	関係で	、実施手	-段等	<b>手を見直す余</b> 均	也がある。	0	ある	(	ない	١	す。				0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	的方法の変	変更な	どにより	コス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	(	ない	١	Ĭ				0	ある	•	ない
						_	次評	価				•			•	=	次評	価				
	評値	引	必要性	有効	性	達成原	角	効率性	総合評	陌			要性	7	与効性	達成原	芰	効率	生	総	合評	产価
	全征	きの しょうしょう	<b>4</b> ○ 拡大·充	<u>  4</u>   ②	世 比野	4_ t維持		<u>        4          </u> 方法改善	○ 民間委	迁等	(		<u>4</u> 太大·充	主		<u>4</u>   *維持	$\bigcirc$	<u>4</u> 方法改氰	Ē		<u>A</u> 引委:	托等
Α		う性				期設定		廃止/休止	0 201-391			_	<u> </u>	$\overline{\bigcirc}$	統合/終			廃止/休	-	<u> </u>		013
C				·												)指摘事项						
TIO	当課	画の 題	出初め式を開 ルテレビで放	開催するこ 送すること	とにより	り、消防団 )市民のM	团員0 防火意	の士気高揚がI 意識の向上に動	はかられ、また 繋がっている。	、ケー			員の <del> </del> 施して			民の防火意	意識の	の向上のた	こめに	必要な行	事で	うす。継続
Z	と事	<b>革案</b> 【行 画	継続します。																			
		員会 事項																				

	No. 4 -	7 基本事務事		方防災事		事務事		上防災組織運		公的関与		'ート作成日   平成24年	
	部局名		総務部		課名	防災対策		主務課長名		高島 輝人			‡ 憲一
	事業区分	○ 1 ソフト		•	3 経常的事務			金·負担金·支	# 2	業運営方法			部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	管理 〇	6 内部	管理事務・その	)他 Territory	未连口刀仏			亅
			/		心のまちづくり			実施計画			事業	美の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施			災体制の充実		<u> </u>	1 該当	平				設定なし
		主要施策	(5)	防火·防災	意識の高揚と自主	防災組織の	育成	2 非該当	根	拠法令等	阿波市自	主防災組織活動事業費補	助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	市民										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	自主防災	﴿組織において防炎	災訓練や防	災啓発な	ど積極的に行い	\南海地震	等不測の災	害に備えま	₹ <b>す</b> 。	
P L		たいのか)	今年度	自主防災 に努めま		指して加入	促進を行	い、既存の自主	E防災組織	については毎	年1回以	上訓練等を実施してもら	えるよう促進
Α					ハますか。(主なー	5の5つま	で)						
Ν		自主防災	組織活動	力事業費補	助金の交付								
	事業の	自主防災	組織資器	材の貸与	i								
	活動内容		組織結成										
		防災訓練	、初期消	火訓練、紫	対命講習等の推進								
			_										
		指標:	呂	計算式又	スは指標設定理的	単位		平成 22		平成 23		平成 24 年度	最終目標
	数値目標	加入世帯数		加入世帯	<b>により指標を測る</b>	世帯	目標		11629		11707		14713
	(事業の目的			( = (+) ( + -)	\		実績		10421		10773		100
	及び活動内 容の達成度	組織結成率		組織結成  る	な率により指標を測	<sup> </sup> %	目標実績		80 71		80 73		100
	を測る指標)			ં			<del>  天</del> 領		4710		4710		14713
		訓練等実施世	帯数	実施世帯	により指標を測る	世帯	実績		2309		2372		147 13
	予算費目	会 計			会計	款	9 消		項	1 消防費	2012	目 3 災害対策	音
	7 77 25 15	Д Н	平		2 年度決算	平成	23	年度決算	平成		度予算	備考	132
		国庫支出	金		Ŧſ	9		千円			千円	平成24年度 予算	
		県 支 出	金		千F	9		千円			千円	自主防災組織結成事	
	直接事業費	地 方	債		千日	9		千円			千円		800千円
D	且按尹未貝	その他特定原			千日	9		千円			千円	自主防災組織運営事	
0		一般財	源		1,008 ∓F			1,336 千円			.000 千円	]  自主防災組織貸与資	1,200千円 哭材腊 λ 費
		計(A)			<mark>1,008</mark> ∓F			1,336 千円			<mark>,000</mark> 千円		2,000千円
		正職員工数・		625 人	<b>3,829</b> 千F	9 0.625	人	3,778 千円	0.625		<mark>,726</mark> 千円		,
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		222		0.000				災力活性化			
	人生主	臨時·嘱託工数·		000 人	0 FF		人	0 千円	1.000	. ,	<b>718</b> 千円	4	
	至件事	業費(A + B)			<b>4,837</b> 千日	4		5,114 千円		9	<mark>,444</mark> 千円		

					チェ	ック項目					_	·次評f	価		_	一次評価の	の説	明		二次	評価	lj
		1 .						「確保できる等 /響は大きくな		0	少ない	•	大き	١١	おり、自:	災害の発生 主防災組約	哉のチ		0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		要不可久	マでありまっ	す。		0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手段	3、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサー				[隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いな	l I					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために、	事業内容	ぎが必	ずしも適切と	<b>はいえない。</b>	0	いえな	11 💿	) いえ	<b>3</b>		戦に防災資 す。災害に			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマ	ンネリ	化など、旅	<b>延策への貢</b>	就度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	۱۱ O	いえ	3	毎年1回	以上の訓	練を調	尾施して	0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施す	る施策	の中で類	傾・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	l I	もらえる。 進してい	よう多様な きます。	訓練	を提案推	0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続	をして	も成果の	向上が期	待て	ぎきない。		0	できな	11 O	でき	3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	13		災組織結成 りの未結反			0	目標に比り	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に	対して	成果があ	まり上か	「って	いないと思う	Ö.	0	あまり」	上がってロ	いない		県、消防	署と連携	して推	進してい	•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に	対して	概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してし	,1る			既存の組約 ていただ!			0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に	対して	十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分道	を成して	いる		ていきま	す。			0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べ	てコス	トが高い	١.				0	高い	•	適当	í		  治会等へ  きます。			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体のノ	ウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	でき	ない	ても毎年	新しい訓練	東や諸	講演会が	•	できる	0	できない
	性	3 .	予算・人員	と成果	の関係で	:、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	•	ない			るよう消防 『導を行っ			0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法	の変更な	さどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	** *									次評					
	評値	点面	必要性	有	<b>可効性</b>	達成原	莡	効率性	総合評	7価		必要		亻	与効性 4	達成	芰	効率性	生	総	合評	<u>·</u> 価
	全征	きの しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	<b>4</b> ○ 拡大·3	全宝		<u>2</u> K維持		3 方法改善	B   ○ 民間委割	千等		<u>4</u> ● 拡	大·充	<u> </u> 宝	<b>4</b> │ ○ 現丬	<u>     2  </u> 犬維持	$\bigcirc$	<u>        3   </u> 方法改割	Ē		B 引委i	千等
Α		9性			統合/終			廃止/休止	0 201-321							期設定		廃止/休		0 201-		<u>=</u>
Ĉ						•										D指摘事I						
T O		題	組織結成推議の必要があり			訓練の指導	導に	は災害につい	ての専門的な知	旧識を		目主防! 且みを注				更です。組織	織率の	つ向上と組	∄織の	充実を図	れる	よう取り
) Z	改革と実計							方災力活性化 が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	推進員を雇用し っていきます。	、県、	消											
		員会 事項																				

	No. 4 -	8 基本事務事	業名 消防	防災事務	务	事務事	業名 消隊	方施設整備事業	業	公的関与	4 シ	ート作成日	平成24年	₹7月6日
	部局名		総務部		課名	防災対策	策課	主務課長領	名	高島 輝人	シー	-卜作成者名	有	井 憲一
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金·負担金·支		美運営方法		I営		全部委託
	争来区力	② 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務·そσ	)他 The state of the state of	民圧ロリル		-部委託		助等
		基本構想(政	,					実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			災体制の充実		0	1 該当	平月		~ 平	成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	消防施設	の計画的更新		<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	市内の消	的団詰所										
		目的(どうい	最終的	消防活動	が常に円滑に遂行	できるよう	に施設整	整備し、維持管理	里する。					
P L			今年度	老朽化して	ている消防団分団	詰所の建っ	て替え及び	び新設を行う。						
ΑN		具体的にどの	ような活	5動を行い	ますか。(主なも	の5つま	で)							
Ζ		阿波市消	防団詰所	「の建て替え	え及び新設									
	事業の													
	活動内容													
		16174				1 337 73		B		- ·		- ·		
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 22		平成 23		平成 24		最終目標
	数値目標	詰所の建て替え及	び新設数			棟	目標		2		2		2	
	(事業の目的 及び活動内						実績目標		2		3			
	及び活動内 容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般:	会計	款	9 消防	方費	項	1 消防費	·	目 2	消防施語	<b>分費</b>
			平	成 22	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算		備考	
		国庫支出			19,531 千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	<u>地 方</u>	債		千円			千円			千円			
D	五汉于未兵	その他特定則			千円			千円			千円			
0		一般財	源		992 千円			30,532 千円			178 千円			
		計(A)	マ曲 へ	440	20,523 千円			30,532 千円	0.440		178 千円			
		正職員工数・網		116 人	711 千円	0.116	<u>۸</u>	701 千円	0.116	<u> </u>	<mark>691</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職 臨時·嘱託工数·		000 人	0 千円	0.000	1	0 千円	0.000	<b>人</b>	0 千円			
	人人士	紫費(A+B)	int貝 U.	000 <u>/</u>	21,234 千円		<u> </u>	31,233 千円	0.000		869 千円			

					チェ	ック項目					_	次評(	西		_	-次評価(	の説	明		二次	:評信	<u> </u>
		1 .						「確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きに	l I	動等が実	iにより、ii i施できま	す。今	後予想	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況σ	中、次年	F度以降第	[施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある			海地震等 団施設の			0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手段	<b>设、方</b>	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		必要であ		十心	4 笠 伸 刀・	0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ 上回るサー				「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いない	١,					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	学が必	ずしも適切と	<b>はいえない。</b>	0	いえな	,1 (	いえる	3		た施設を設設等の不			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマ	ンネリ	化など、カ	色策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	,1 🔘	いえる	3		を未然に			0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施す	る施策	その中で 類	頁似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	, 1					0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続	をして	も成果の	D向上が期	得て	ぎきない。		0	できな	.1	できる	3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して	進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	3	計画的に	:詰所の建 ております		え及び新	0	目標に比	べて針	合っている
	達世	2 .	目標設定に	対して	成果があ	あまり上か	べって	いないと思う	ò.	0	あまり」	こがってし	ハない		uX Œ I J Æ	(0)765	0		0	あまり上が	ってし	ない
	成度	3 .	目標設定に	対して	概ね目標	票を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してに	13						0	概ね達成	してい	13
		4 .	目標設定に	対して	十分に目	目標を達成	tして	いると思う。		•	十分達	成してい	,13						•	十分達成	してし	13
		1 .	効果に比べ	てコス	くトが高い	١,				0	高川	•	適当		消防団詰	所の老杯をするより			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体のノ	クハウギ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	ない	行う方が				0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員	と成果	見の関係で	ご、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	•	ない		す。				0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方法	の変更な	こどにより	コス	くト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							次評	** *								_	次評					
	評値	点面	必要性 4	1	与効性 4	達成	芰	効率性	総合評	価		必要	性	1	与効性 4	達成人	芰	効率	生	総	合計	P価
	今後	きの しんしん	○ 拡大·¾	 充実	<b>4</b> ┃	<b>  4</b> 犬維持		<del>4</del> 方法改善	<ul><li>○ 民間委請</li></ul>	托等	(		 大·充	実		<b>  4</b>   	0	<u>4</u> 方法改氰	阜		A 引委	託等
Α		9性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止			100000	) 縮		0	統合/終			廃止/休	-			
C				-											評価での				価との	の相違点	3	
TI	当面   課	面の!題	今後発生が 消防団施設の	予想さ の整備	れる東海 が必要で	、東南海、 『す。	南海	三連動地震に	対応するため、	早急	なり	次計画	画に基	づき	、順次、整	経備を進め	て下	さい。				
0																						
N	改革	草案 12行	安全・安心の	)まち: てけ ま	がかめて	点から計画	回性を	もって行います	す。尚、建替等 <sub>튛し、総合的に</sub>	の優	先して											
			行います。	< 10×, 1	اهامالااح	0007/	<b>→</b> ★.	1 -0 E	E O ( NO LITTLE	7 3 12/1												
		員会  事項																				

	No. 4 -	9 基本事務事		防災事績	務	事務事	業名 消隊	方団員管理事	務	公的問			年7月6日
	部局名		総務部		課名	防災対策	策課	主務課長領	当	高島 輝	人 シー		村 栄治
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法	法 🔽 1 直		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務∙その	)他 The second of the second	未连百刀			補助等
			- /		心のまちづくり			実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施			災体制の充実		0	1 該当				· <mark>成 年 ☑ 期</mark> [	
		主要施策	(1)	消防団σ	D活性化		<b>O</b>	2 非該当	相	视法令等	阿波市消	筋団の設置等に関する	3条例
		対象(誰を、 何を)	消防団員	i·市民									
	事業の 対象・目的		最終的		t、市民の生命・財産 ・例により定められ <sup>-</sup>		〈、水火災	その他の災害	の予防、	警戒及び防	が御を行う非常	動特別職の地方公務!	員であり、その
P L		う状態にし た <b>いのか</b> )	今年度	消防団は 設置は条	t、市民の生命・財産 ・例により定められ	≧を守るべ ています。	〈、水火災	その他の災害	の予防、	警戒及び防	前御を行う非常	(勤特別職の地方公務)	員であり、その
Α		具体的にどの	しような活	5動を行い	ハますか。(主なも	の5つま	で)						
Ν		<b>個</b> 异員世	、分団運	営補助金の	の支給		•						
	事業の	消火に関	する業務	、防火に閉	関する業務								
	活動内容	地震、風ス	水害の予	防、災害的	方除に関する業務								
		指標名	3	乙定算信	又は指標設定理由	単位		平成 22		平成	23 年度	平成 24 年度	最終目標
	数値目標	団員数		条例定数	I	人	目標		544		564	56	4 564
	(事業の目的						実績		537		551		
	及び活動内 容の達成度	団員充足率			団員条例定数×1	%	目標		100		100		100
	谷の)達成長 を測る指標)			0 0			実績		99		98		
	CM3 G 3H IM )						目標実績						
	予算費目	会 計		6八	会計	款	9 消防	<u> </u> 	項	1 消防	弗		治院毒
	」,并具口	ᄍᅟᇚ	377		22 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24	年度予算		/日炒貝
		国庫支出		13% 2	- <u>2</u> 一尺//并 千円		20	千尺八升	1 13%	<u> </u>	千尺丁升		
		<del>II /                                  </del>	金			4		千円			千円		
		地方	債					千円			千円		
D	直接事業費	その他特定則			 千円			千円			千円		
0		一 般 財	源		22,955 千円			23,235 千円			23,445 千円		
		計(A)			<b>22,955</b> 千円			23,235 千円			<b>23,445</b> 千円		
		正職員工数·約	経費 0.8	500 人	3,063 千円	0.500	人	3,022 千円	0.500	人	2,981 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職	<b>找種</b>										
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0 千円		人	0 千円	0.000		0 千円		
	全体事	業費(A + B)			<b>26,018</b> 千円			26,257 千円			<mark>26,426</mark> 千円		

					チェッ	ク項目					-	一次記	评価		_	-次評価の	の説	明		二次	評値	Б
		1 .						「確保できる等 ジ響は大きくな		0	少な	l I		大きい	は地域に	とより、非 :密着した	防災村	幾関であ	0	少ない	0	大きい
	必要	2 .	厳しい財政料	状況の中、	次年	度以降実	施す	「る緊急性が認	ぬられない。		ない		<b>●</b> #	53	り、その』 ありませ	必要性は調	議論の	D余地が	0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上のために	二、現	在の手段	、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある		• t	III	めりよせ	70.			0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	,てニ <b>ー</b> ズを	0	いる		<b>⊙</b> ι	ない					0	เาอ	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	りに、	事業内容	が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえた	ない	<b>Ο</b> ι	lえる		が団は地であり、そ			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ化など	、施釒	策への貢献	就度だ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえた	ない	<b>Ο</b> ι	1える		地があり			0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策の中	で類(	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する		<b>Ο</b> ι	ない					0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続で	をしても成っ	果の「	句上が期	待て	ごきない。		0	できた	はい	• 7	できる					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	らと思う。		0	目標	に比べ	て劣っ	ている		の消防団			0	目標に比	べて劣	うっている
	達世	2 .	目標設定に対	対して成果	がある	まり上が	って	いないと思う	ö.	0	あまり	上がっ	ていな	l I	その活動	は、地域	<b>密着</b>	型防災機	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね	達成し	ている			十分その樹 。	後配を	は達成し	•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分	達成し	ている						0	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べて	てコストが	高い。	)				0	高い		• į	適当	常備消防	との訓練・研 を切磋琢磨	开修を してま	実施して ゔり、また、	0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	3	• 7	できない	今後予想	される地震 戦を拡大する	等に対	付処する	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果の関	係で、	実施手	段等	<b>を見直す余</b> 均	也がある。	0	ある		• t	115	市民の安	**こが/へ/ 全·安心の 議論できる	ために	は、その	0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の変	更な。	どにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある		• t	ill (	せん。	我酬してる。	60) C	. はめりよ	0	ある	•	ない
							欠評										次評					
	評値	点面	必要性	有効性		達成度	Ž	効率性	総合計	平価		必	要性	7	<mark>有効性</mark> 4	達成	芟	効率性	生	総	合評	<sup>2</sup> 価
	今後	きの	● 拡大·充	4	<b>見</b> 状:	4 維持 【		<u>        4         </u> 方法改善	○ 民間委	託等		0 :	Т_	 ·充実		<u>  3</u> 	0	<u>4</u> 方法改善	Ė		A 引委i	託等
Α		9性	○ 縮小			明設定		廃止/休止	0 201-321				縮小		統合/終			廃止/休		0 201		
Ĉ				•		-									(評価での				価と	の相違点	<u>.</u>	
TI	当課	題	消防団員のグ	欠員補充と女	て性消	的团員の	の組織	織の拡充。				欠員。	となっ	ている氵	肖防団員の	つ確保に努	めて	下さい。				
0																						
Z			欠員団員を補	前充するとと	もに、	女性消防	方団貞	員の教養・訓練	に努めます。													
		員会 事項																				

	No. 4 -	10 基本事務事	業名消	方防災事務	务	事務事	業名 消隊	方団員共済会	交付金事	業 公的関与	5 4 シ	ート作成日	平成24	年7月6日
	部局名		総務部		課名	防災対策	策課	主務課長	名	高島 輝人	シ-		松	村 栄治
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事	業	5 補助3	金·負担金·支	援	業運営方法	✓ 1 I	営	✓ 3 ≦	全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事	未连占刀仏		−部委託		補助等
			,		いのまちづくり			実施計画				€の開始・終っ		
	総合計画	基本計画(施			災体制の充実		0	1 該当	平/		. ~ 平	成 年	☑ 期間	闘設定なし
		主要施策	[1]	消防団の	)活性化		<b>O</b>	2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	消防団員											
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的		の相互扶助と福禾 に加入しています		図る目的	で、全日本消防	i人共済会(	のB型火災共	済、日本流	肖防協会の福	祉共済制.	<b>芰、消防互助</b>
P L		う状態にし た <b>いのか</b> )	今年度											
Α		具体的にどの	Dような?	舌動を行い	\ますか。(主なも	5の5つま	で)							
Ν					<b>杉に関する事務。</b>		· ·							
	事業の													
	活動内容													
		指標名	各	計算式又	(は指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23	年度	平成 24	年度	最終目標
	数値目標			指標設定	になじまないため		目標							
	(事業の目的			設定しない	, 1		実績							
	及び活動内 容の達成度						目標							
	谷の達成長 を測る指標)						実績							
	CMI GILIM)						目標 実績							
	予算費目	会 計		<u> </u> 一般	스타	款		    七弗	項	1 消防費		目 1	非常備法	当院弗
	」′ 开貝口	즈 미	VI.	范成 2		平成	23	年度決算	平成		度予算		備考	旧则具
		国庫支出		-13 <b>%</b>	<b>子及八弄</b> 千月	_	20	<del></del>	T-13%	27 7	<u>FIQ J <del>开</del></u> 千円			
		県支出	金					<u> </u>			<u> </u>			
		地方	債					<u> </u>			千円			
D	直接事業費	その他特定則						千円			千円	4		
Ō		一般財	源		1,632 ∓₽			1,692 千円		1	,692 千円			
		計(A)			1,632 千円			1,692 千円		1	, <mark>692</mark> 千円	1		
		正職員工数・統	経費 0.	.042 人	<b>257</b> 千円	0.042	人	254 千円	0.042	人	250 千円	]		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶	战種									]		
		臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円			
	全体事	<b>坐</b> 費(A+B)			1 889	7		1946 壬円		1	942 千円			

				Ŧ	エック項目					_	次評(	価		_	-次評価の	の説明	<b>归</b>		二次	評価	ī
		1 .					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大き	<b>!</b>   1	ている消	に重要な 防団員の	福利原	厚生をは	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	状況の中、次	(年度以降	実施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある		かること	は、市の責	務で	す。	0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の向	句上のために	、現在の手	段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサーヒ			近隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	0	いな	:11					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を調	実現するため	に、事業内	容が必	がずしも適切とに	<b>はいえない。</b>	0	いえない	1 0	いえ	3		の相互扶 としており			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への責	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 0	いえ	3	場合は団	員の負担	が増	え、処遇	0	いえない	•	いえる
C H	姓	3 .	市が実施する	る施策の中で	で類似・重	複した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなり	l I		なり、団員 を及ぼしま		確保に	0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	としても成界	見の向上が	期待で	できない。		0	できない	1 0	でき	る					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	寸して進捗状	状況が劣っ	ている	らと思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	13	団員の処 達成して	退改善に	つい	て、十分	0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2 .	目標設定に対	寸して成果だ	があまり上	がって	こいないと思う	<b>&gt;</b> .	0	あまり上	がってし	ハない		圧成して	V 10. 9 ,			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	標を達成	してい	ると思う。		0	概ね達	成してに	,13						0	概ね達成	してい	<b>პ</b>
		4 .	目標設定に対	寸して十分に	目標を達	或して	こいると思う。		•	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	てコストが高	高い。				0	高い	•	適当	á	本来的に はありま <sup>・</sup>	効率性を	求める	る事業で	0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主体	本のノウハウ	つや新たな	制度を	E活用できる。		0	できる	0	でき	ない	はめりよ	C 70°			0	できる	•	できない
	率性	3 .	予算・人員と	こ成果の関係	系で、実施	手段等	<b>ទを見直す余</b> 均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	り方法の変更	しなどによ	リコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					-	-次評	価								=	次評	価				
	評值	严	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	7価		必要		有	対性	達成原		効率性	生	総	合評	価
	今後	きの しょうしん		4   <b>(</b> 軍   ● 刊	<b> 4</b> 見状維持		<u>         4         </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	壬等			大·充	宝		<u>       4    </u> 犬維持	$\bigcirc$	<u>4</u> 方法改善	Ē		A 引委i	托等
Α		句性			終期設定		廃止/休止	0 101-321						統合/終			廃止/休	_	0 201		
С				-											)指摘事项	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	Ī.	
T I O			団員相互の扶 です。	<b>失助と福利厚</b>	生が実現さ	れても	おり、現在のとる	ころ当面の課題	はな	(1)  組	<b>送続して</b>	て実施	してヿ	下さい。							
N			継続していき	ます。																	
		員会  事項																			

	No. 4 -	11 基本事務事	業名消	方防災事務	务	事務	事業名	消防団員研修	養成事	事業	公的関与 4	シー	卜作成日	平成24	<b></b>
	部局名		総務部		課名	防災対	対策課	主務課	長名	高	島 輝人	シート	作成者名	松	付 栄治
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			助金·負担金		車業	運営方法 🖳	1 直営	•		<b>È部委託</b>
	争来匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理(	〇 6 内	部管理事務·		事 未足			逐託		前等
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,		いのまちづくり			実施計画	画				開始·終了		
	総合計画	基本計画(施			災体制の充実			○ 1 該当		平成	年 ~	平成			設定なし
		主要施策	(1)	消防団の	)活性化			● 2 非該当		根拠	法令等 阿波	市消防	団の組織等	手に関する	規則
		対象(誰を、 何を)	消防団員												
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	地域防災	の中核となる消	防団員が、	あらゆ	る災害にも対処	できる。	よう技能・	知識を習得します	<b>す</b> 。			
P L			今年度	地域防災	の中核となる消	防団員が、	あらゆ	る災害にも対処	できる。	よう技能・	知識を習得します	<b>.</b>			
ΑZ		具体的にどの	つような流	5動を行い	\ますか。(主な	きの5つ	まで)								
Ν		技能、知言	哉の向上												
	事業の														
	活動内容														
		1617 4	_	T 1 1				- n			- D 4		- B		
		指標名			は指標設定理				22 年月		平成 23 年度		平成 24		最終目標
	<b>数</b> 個日標	び各地区消防団幹	が祝祭及	消防団長  分団長	及び各方面団長	人	目:			56		56		56	56
	(事業の目的	<u>意見交換</u>		刀凹技			実			44		46			
	及び活動内 容の達成度						実								
	を測る指標)						目								
							実								
	予算費目	会 計		一般	会計	1 7		消防費		項 1	消防費		目 1	非常備消防	遺
			平	成 2					算 引		24 年度予	算		備考	
		国庫支出	金		Ŧ	- 円		Ξ	千円			千円			
		県 支 出	金		Ŧ	円		=	千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			-円		=	千円			千円			
D	且汉于未具	その他特定則				円			千円			千円			
0		一般財	源		2,003 Ŧ			•	f円		2,430				
		計(A)			2,003 ∓			<u>'</u>	f円		2,430				
	1 /4 建 / 5 >	正職員工数・網		021 人	129 <del>1</del>	円 0.02	11 人	127	f円 0	).021 人	125	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000 1	0 =		10 I I	0	- III	0.000		<b>T</b> III			
	<b>→</b>	臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	<b>紅</b> 質 U.	000 人	0 <del>1</del> 2,132 <del>1</del>		0 人	0 = 1,953 =		).000 人	2,555	千円			
	土件尹和	未見(ハ・ロ)			Z, 132 T	IJ		1,900	ו ום		2,555	1,13			

					<b>-</b>	ᅭᇊᄆ						かずん	#			かが無く	▷ ≒只 미	=		— \ <i>h</i>	÷π/π	
						ック項目		<u> </u>	<del></del>			次評	Щ			次評価(				二次	. 計半 1 川	
		1 .						が確保できる等 <u><!--</u-->響は大きくな</u>		0	少ない	•	大きに	١		には、先近			0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の	D中、次年	度以降実	能す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		事業が必	要です。			0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ <u>上回るサー</u>				」隣自	治体と比較し	ノてニ <b>ー</b> ズを 	0	113	•	いない	١					0	いる	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	けるために	、事業内容	₹が必	ずしも適切とに	<b>はいえない。</b>	0	いえな	,1 💿	いえる	)	消防団員	の技能・第			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマ	'ンネリ	化など、放	施策への貢	献度加	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	۱ (	いえる		事業は有		≟>0 1/L		0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施す	る施領	後の中で類	傾い重複	した	上事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	١					0	する	•	しない
Ε		4 .	事業の継続	をして	ても成果の	向上が期	得て	できない。		0	できな	,1 •	できる						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して	<b>工進捗状</b> 涉	ぴ劣って	:IIZ	ると思う。		0	目標に	比べて針	劣っている	3	新たな訓	練形態の があがって			0	目標に比り	べて劣	っている
	達成	2 .	目標設定に	対して	て成果があ	5まり上が	べって	こいないと思う	ō.	0	あまり」	こがってし	ハない			達成してい				あまり上が	ってい	はい
	度	3 .	目標設定に	対して	て概ね目標	悪を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してに	13						0 :	概ね達成	している	3
		4 .	目標設定に	対して	て十分に目	目標を達成	tして	こいると思う。		•	十分達	成して	,1る						•	十分達成	してい	ઢ
		1 .	効果に比べ	てコス	ストが高い	١.				0	高い	•	適当			には効果 が、研修で			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体のノ	ノウハウギ	)新たな制	度を	E活用できる。		0	できる	•	できな	113	は、災害	現場等でし	1かさ		•	できる	0	できない
	性	3 .	予算・人員	と成果	果の関係で	ご、実施手	段等	<b>ទを見直す余</b> 地	也がある。	0	ある	•	ない		のうつこと	<b>見われます</b>	0		$\circ$	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方法	よの変更な	こどにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	<del>"</del> 価								_	次評值	西				
	評値	点点	必要性	1	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	<del>'</del> 価		必要		亻	可効性	達成原	复	効率性	生	総	合評	価
			4	<u> </u>	4	4		4	A	~ KK		4		_	4	4		3	_	<u> </u>	A	< 15/F
		後に対け	<ul><li> 拡大·</li><li> 縮小</li></ul>	<u>允美</u> ┃○	○ 現場 統合/終			方法改善	〇 民間委託	t寺 ——	_	) 拡: ○ 縮:	大・充憲	<u>美</u>	● 現状 統合/終	大維持 期益定		方法改割 廃止/休		○ 民間	委託	<u>.</u> 寺
A	711.	기도			7/10日/7/10	州以仁		, 并止/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /					_	$\overline{}$	評価での					の相違と	ī	
C T	出品	آس آ	当时团龄部	た今か	マタ(の消	が田田却	计古台	₹∙知識を習得で	できる晋 <del>信</del> を敕	ラス」	公亜 3	践に往			・研修に取				ЩС		1	
İ			があります。		V. 2 (0)/F	100四页/1	JXHC	S MINGELLA	CC の城界で正	/L 0 %	心女		~									
0																						
Ν	改革	案	団員の中央	研修さ	b消防学校	え校の機	会を	増やし、将来の	)消防団幹部 <i>の</i>	育成	Ϊ́ε											
	と) 計		図ります。																			
	-	会																				
		事項																				

	No. 4 -	12 基本事務事	業名 民間	引木造住宅(	の耐震診断事業等	事務事業	業名 民間	オ造住宅の耐	震診断事業	業等 公的関与	5 4 シ	ート作成日	平成24年	F7月6日
	部局名		総務部		課名	防災対策	<b>策課</b>	主務課長	名	高島 輝人				本 正和
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務事	業 ●	5 補助3	金·負担金·支	援 📗	業運営方法	1 直	営	3 全	≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 事	未埋吕刀広	✓ 2 -	-部委託	4 裤	前助等
		基本構想(政	(策) 6.	共に生き、	共に築〈まちづ〈	IJ		実施計画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(5	)自立·持約	続可能な地域経常	営の推進	<b>O</b>	1 該当	平		. ~ 平	·成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(4	)広域行政	で推進		0	2 非該当	根	拠法令等	阿波市木	造住宅耐震診	断事業実	施要綱
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的		大震災で倒壊した 宅の耐震化を促進				てられた	木造住宅でし	た。このこと	とから昭和56年	の新耐震	<b>҈</b> 基準施行前
P L		う状態にし たいのか)	今年度	阪神淡路 の木造住	大震災で倒壊した 宅の耐震化を促進	家屋の多の し、市民の	(は、昭和 )生命・財	56年以前に建  産を守ります。	ころれた	木造住宅でし	た。このこと	とから昭和56年	の新耐震	₹基準施行前
Α		具体的にどの	ひようなえ	活動を行い	\ますか。(主なも	の5つま	で)							
Ν		市の事業	としての	木造住宅の	O耐震診断の実施									
	事業の	木造住宅	耐震耐震	震改修の補	助									
	活動内容													
		指標名	各	_	(は指標設定理由	単位		平成 22		平成 23		平成 24		最終目標
	数値目標	木造住宅耐震	診断	国、県補田	助による補助目標	戸	目標		80		80		80	
	(事業の目的	THE LE DINK	LH > L-/1	戸数		,	実績		53		80			
	及び活動内	木造住宅耐震	改修	県、市補助	助による補助目標	戸	目標		10		7		5	
	容の達成度 を測る指標)			戸数			実績		3		1			
	で別の日本)						目標							
	7 体 井 口	<b>△</b> ±11		AD	۸ ÷ I	+4	実績	<u> </u>		. 1公六世				
	予算費目	会 計	। त		会計	款	8 土7		項	4 住宅費	中マ笠	目 3		耐震化支援費
		国庫支出		P成 2:	2 年度決算 795 千円	平成	23	年度決算 1,228 千円	平成		度予算	┃ 耐震診断推進	備考	フ防吐皮田
		県 支 出	金		398 千円			914 千円			,300 千円 2,150 千円	沙辰砂凼  住坞	三貝で4下	3 Km P寸/住/刊
		<del>原 文 山</del> 地 方	 債		0 千円			<u> </u>			.,130 千円 千円	-		
D	直接事業費	その他特定則			0 千円						千円			
0		一般財	源		397 千円			914 千円		5	5,650 千円	ł		
		計(A)	11/3/		1,590 千円			3.056 千円			,100 千円	1		
		正職員工数・	経費 0	.000 人	0 千円	0.104	人	629 千円	0.104		620 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			113			性化推進員		災力活性化				
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円		人	5,498 千円	1.000		<b>,718</b> 千円	1		
	全体事	<u>業</u> 費(A+B)			1,590 千円			9.182 千円			.438 千円			

					チェ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価	の説	明		二次	評価	1
		1 .			ても、公平	生・公正		が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない		大き	ŧ۱۱	耐震改修		を、	自主防災	0	少ない		大きい
	必	2 .	厳しい財政	伏況の	D中、次年	度以降実	施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある	5	ります。				0	ない	•	ある
	要性	3 .	住民満足度の	向上の	)ために、	現在の手段	<b>设、方</b>	法等の改善の	余地がある。	0	ある		ない	١					•	ある	0	ない
	-1	4 .	住民ニーズ(上回るサー				[隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	(	いな	111	<u> </u>				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	するために	、事業内容	ぎが必	がずしも適切と	<b>はいえない。</b>	0	いえな	:61	いえ	. S		対訓で、想 える事が		の被害状	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ	化など、旅	施策への貢	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	:61	いえ	3	住民の方	の耐震は	関す	るニーズ	0	いえない	•	いえる
С	性	3 .	市が実施する	る施第	後の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	(	しな	113	が高まり 解が深ま	、耐震改( ぎりつつあ			0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続を	をして	ても成果の	向上が期	待て	できない。		0	できな	:11	でき	₹ <b>る</b>					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して	<b>工</b> 進捗状況	ぴ劣って	เเล	らと思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	,1る		しずつ申 えられます			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2 .	目標設定に対	対して	て成果があ	まり上か	「つて	こいないと思う	ð.	•	あまり.	上がって	いない			の必要が			•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	対して	で概ね目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね遺	屋成して	いる						0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	対して	て十分に目	標を達成	して	こいると思う。		0	十分道	達成して	いる		Ī				0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	てコノ	ストが高い	١.				0	高川		適当	<b>当</b>	他の自治	a体の例な められる			0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主体	体のノ	ノウハウギ	新たな制	度を	E活用できる。		0	できる		でき	ない	地があり		より兄	.且 9 ホ	•	できる	0	できない
	率性	3 .	予算・人員の	と成果	果の関係で	ぶ、実施手	段等	<b>手を見直す余</b> 均	也がある。	0	ある	(	ない	١	Ī				0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法	よの変更な	ことにより	コフ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	(	ない	١					0	ある	•	ない
						_	次評	<del>"</del> 価								_	次評	価				
	評値	点点	必要性	1	有効性	達成原	茰	効率性	総合割	严価		必要		7	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
		後の	3 ○ 拡大·۶	<u>2</u> 丰	<b>4</b> ┃	2 	0	<u>]      3                              </u>	B   ○ 民間委割	千竿			<b>5</b> 大·充	<u> </u> 	<b>4</b> ┃ <mark>●</mark> 現丬	<u>  2</u> ∦維持		<u>        3   </u> 方法改善	<b>É</b>		B 引委記	<u>.</u> 4等
		対性			統合/終		)	廃止/休止	COBJE	1013			<u>// / / / / / / / / / / / / / / / / / /</u>		統合/終		0	廃止/休	-	O LUIS	1) 54 11	0.0
A C		<u> </u>	O 141H 0		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			70				0		二次	評価での		_			の相違点	Į.	
TIO	当課	題	耐震診断率の	の向上	こを図ります	<b>す</b> 。						材震改 1。	修の低	足進に	向け市民	の意識を	高め	るため、更	なる	広報・啓養	<b>ěを行</b>	さ不てで
Z	改革と第		耐震診断の記 別訪問を実施			,耐震改作	修な。	どを促進するた	:め、尚一層の	周知	サ戸											
		員会 事項																				

	No. 4 -	13 基本事務事	業名防犯	D関係事業	É			犯灯関係業務	į j	公的		ート作成日	平成24年	F7月6日			
	部局名		総務部		課名	防災対	策課	主務課長	名	高島 輝			راال	人 浩二			
	事業区分	<ul><li>1 ソフト</li></ul>			3 経常的事務			金·負担金·支		業運営方		i営		部委託			
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	6 内部	管理事務・その	の他 <sup>*</sup>	未连占刀		-部委託	4 補	助等			
			,		いのまちづくり			実施計画				<b>巻の開始・終了</b>					
	総合計画	基本計画(施			・防犯体制の発	実	<b>(</b>					成 年	✓ 期間	設定なし			
		主要施策	(4)	防犯灯の	)整備		C	) 2 非該当	1	艮拠法令等	É						
		対象(誰を、 何を)	市民														
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	市民が安	全で安心して暮ら	らすことがて	できる社会	の実現を目指し	します。								
P L		たいのか)	今年度	夜間にお	ける防犯の強化	を目的に防	犯設備(图	防犯灯等)の拡	充、維持管	含理を行いる	ます。						
AN		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
Ν		犯罪のな	犯罪のない明るいまちをつくるため、防犯設備(防犯灯等)の拡充、維持管理を行う。														
	事業の 活動内容																
		指標名	<u> </u>	計算式又	(は指標設定理)	由単位		平成 22			23 年度	平成 24		最終目標			
	数値目標	防犯灯点検箇所数	<b>汝</b>	点検実施	数を設定	基	目標		500				500	3300			
	(事業の目的					実績		300	1	300							
	及び活動内 容の達成度						目標 実績										
	を測る指標)						<del>  夫</del> 線   日標										
							実績										
	予算費目	会 計			수計	款			項	1	管理費	日 13	防犯対策費				
	丁开貝口	<u>Д</u> П	五	- 成 2:			23	年度決算	平成	24	年度予算		備考				
		国庫支出		1-20		円		千円	_		千円		1113 3				
		県 支 出	金					<u></u>			千円						
		地方	債		Ŧ	円		千円	1		千円						
D	直接事業費	その他特定則	才源		千	円		千円	1		千円						
0		一 般 財	源		19,216 千	円		18,019 千円	ı		19,950 千円						
		計(A)			19,216 千	円		18,019 千円			19,950 千円	.1					
		正職員工数·約	経費 0.	125 人	<b>766</b> ∓	円 0.125	人	<b>756</b> 千円	0.125	人	745 千円						
	人件費(B)	臨時·嘱託暗															
			臨時·嘱託工数·経費 0.		<b>0</b> 千		人	0 千円			0 千円						
	全体事業	業費(A + B)			<b>19,982</b> 千	円		18,775 千円			20,695 千円						

				エ	ェック項目					>	欠評価		_	-次評価の	≐台 □日		— \ <sub>1</sub> -	評価	
		1	士が守佐し:				が確保できる領	ケールの実施						全で安心し					
	<b>N</b>		主体があり、	事業を廃止	・休止して	こも景	/響は大きくな	î l l .		少ない	<b>○</b> 大	きい	とが出来	る社会を実	現するため	0	少ない	● 大きい	
	必要						トる緊急性が認			ない	<ul><li>あ</li></ul>	გ	にも当事	業は必要で	す。	_	ない	<ul><li>ある</li></ul>	
	性						法等の改善の領	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	<ul><li>な</li></ul>	:11				0	ある	● ない	
		4 .		の低下がみら <mark>ビスとなって</mark>		「隣自	治体と比較し	ノてニ <b>ー</b> ズを 	0	เาอ	• 11	ない				0	113	<ul><li>いない</li></ul>	
		1 .	施策の目的を	実現するため	に、事業内容	字が必	がずしも適切と	<b>はいえない。</b>	0	いえない	• 11	える		おける防犯理業務は確	灯の新設及		いえない	● いえる	
	有	2 .	事業内容のマン	ンネリ化など、	が著しく高いと	0	いえない	• 11	える		上げていま	0	いえない	● いえる					
С	効性	3 .	市が実施する	る施策の中で	上事務事業が存	0	する	<b>⊙</b> ∪	ない				0	する	● しない				
HE		4 .	事業の継続で	をしても成果	の向上が期	月待て	できない。		0	できない	<b>●</b> で	きる				0	できない	● できる	
C K		1.	目標設定に	対して進捗状	ると思う。	0	目標に比	べて劣って	こいる		.おいては市 置されてお		○ 目標に比べて劣っている						
	達世	2 .	目標設定に対	対して成果が	こいないと思う	Ď.	•	あまり上が	がっていない	.1	学路周迈	1の300基種	程度点検と	•	● あまり上がっていない				
	成度	3 .	目標設定に対	0	概ね達点	<b></b>			の連絡によ 迅速な対応	り修繕して が出来てい	○ 概ね達成している								
		4 .	目標設定に対	0	十分達成	戈している		ないのが	現状です。		0	○ 十分達成している							
		1 .	効果に比べる		0	高い	◎ 適当				経について 11維持管理		高い	● 適当					
	効率	2 .	他の実施主任		•	できる	○ できない		は、妥当なコストにより維持管 されています。			•	できる	○ できない					
	华性	3 .	予算・人員の	也がある。	0	ある	る ② ない					0	ある	<ul><li>● ない</li></ul>					
		4 .	電子化や契約	也がある。	0	ある	<ul><li>な</li></ul>	:61				0	ある	● ない					
					_	次評	<del>"</del> 価							二次	(評価				
	☆でん	点点	必要性	有効性	達成	度	効率性 総合評				必要性		有効性 達成度		効率	性	総合評価		
			4	4	2		3	В			4		4	2	3			В	
		後の	○ 拡大·矛		<b> </b> 状維持	0	方法改善	〇 民間委託	托等	0		充実	_		) 方法改			<b>個委託等</b>	
Α	万回	自性	○ 縮小	○ 統合/	終期設定	0	廃止/休止			C	縮小	0	統合/終		○ 廃止/b				
С			珀左 除犯灯	++ホー200	∩⊮T∕Çı1≜Д!	聖 ナヤ	ιています。毎 <sup>⊊</sup>	生 通学吸用证	ו כ תו	) ()					及び一次部				
TI	当課	題の題	基程度の点権	一のため、迅速			待管理費	の削洞	或のため、	LED化への	取り組みな	ども推っ	進して下る	さい。					
0			出来 (いない	のが現状です															
Ν		案	広報誌やケ-	- ブルテレビて	で球切れや剝	8月7	下良による不点	灯防犯灯の連	絡を計	民									
	と身 計			だけるよう広						•									
	-	会																	
	指摘	事項																	

	No. 4 -	14 基本事務事	業名 防犯	2関係事業		事務	事業名	防犯協:	会活動費	補助事		公的関与	5 シ	/ート作成日	平成24年	<b></b>		
	部局名		総務部		課名				主務課長	名	高	島輝人	シ-					
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				負担金·支		車茶温	営方法		直営		<b>全部委託</b>		
	争来区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	〇 6 内	部管理事務・その他			3			−部委託	✓ 4 ¾	助等		
		基本構想(政							施計画					€の開始・終了	,			
	総合計画	基本計画(施			・防犯体制の				亥当		平成	年	~ 平	在 在 年	☑ 期間	設定なし		
		主要施策	(3)	防犯意識(	の高揚と地域を	安全活動	の促進	2 =	<b>非該当</b>		根拠	法令等						
		対象(誰を、 何を)	阿波市防	ī犯協会														
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし -	最終的	終的 防犯活動を推進し、地域における防犯思想を高め、犯罪のない明る〈住みよい地域社会の実現を目指しま														
P L			今年度	各種防犯団 進します。	団体との連携を	図るととも	に、広報	疑誌やケ・	ーブルテレ	/ビを活	用したも	<b>啓発啓蒙活</b>	動を強化	とすることにより	効果的な	防犯活動を推		
A N		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
N		協会への補助金交付																
	事業の	啓発活動の支援																
	活動内容																	
		指標名   計算式又は指標設定理由   単位   平成 22 年度   平成 23 年度   平成 24 年度   最終目標																
		指標名	í	計算式又は指標設定理由					平成 22	年度	度 平成 23 年度			平成 24	年度	最終目標		
	数値目標			指標設定になじまないため 設定しない			目:											
	(事業の目的			設定しない			実											
	及び活動内 容の達成度					実												
	を測る指標)						目											
	,						実											
	予算費目	会 計		一般名	<b>&gt;計</b>			総務費			項 1	総務管理	<b>里</b> 費	目 13	防犯対策費	i		
	7 77 75 15	и н	平	成 22					度決算	平瓦			<del>度</del> 予算	<u> </u>	備考			
		国庫支出				-円			千円	+			千円					
		県 支 出	金		Ŧ	-円			千円				千円					
	直接事業費	地方	債		Ŧ	-円			千円				千円					
D	且按尹未貝	その他特定財			Ŧ	-円	千円						千円					
0		一般財	源	1,600 千円				1	,600 千円			1,6	600 千円					
		計(A)			1,600 <del>1</del>			1	<b>600</b> 千円			1,6	500 千円	4				
		正職員工数·紹		004 人	25 <sup>‡</sup>	円 0.00	)4 人		<b>24</b> 千円	0.00	04 人		<b>24</b> 千円					
		臨時·嘱託職																
		臨時·嘱託工数·約	経費 0.0	000 人	0 7		00 人		0 千円		00 人		0 千円					
	全体事業	業費(A + B)			1,625 <del>T</del>	-円		1	<mark>624</mark> 千円			1,6	<mark>624</mark> 千円					

チェック項目												. V⇔ ≐π	/ <b>.</b>			_ \左 = \( / \alpha / \alpha /	<b>レ</b> =只 □		二次評価					
			1.% <del></del> 1.5.1						·次評	·1Щ			-次評価の					. 百 <u>十</u> 711	1					
		1 .						が確保できる等 が響 <mark>は大きく</mark> な		0	少ない		大き	₹U	る防犯思	かを推進し、 、想を高め、	犯罪	のない	0	少ない	•	大きい		
	必要性	2 .	厳しい財政	状況の	中、次年	度以降実	能す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	(	ある	5		みよい地域 にも当事			0	ない	•	ある		
					向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。 の低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを						ある	(	ない	١	す。	C 0 1 7 9	K 100 Z		0	ある	•	ない		
		4 .	住民ニーズ(上回るサー				」	ョ治体と比較し 	ノてニーズを 	0	113	(	いな	۱۱î					0	いる	•	いない		
		1 .	施策の目的を	実現す	るために、	、事業内容	字が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	11	いえ	ia		る犯罪に		0	いえない		いえる			
	有効	2 .	. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。									11	いえ	L3	703/5/	1117100	V 16	<b>7</b> 0	0	いえない	•	いえる		
СН	性	3 .	. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。										しな	î l I				0	する		しない			
Е		4 .	事業の継続	をして	も成果の	向上が期	得で	できない。		0	できな	11	でき	53					0	できない	きない ① できる			
C K		1 .	. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。									比べて	劣ってい	,1る		ける事業			○ 目標に比べて劣っている					
	達世	2 .	目標設定に	Ď.	0	あまり」	上がって	いない		■概ね達成していると思われます。					○ あまり上がっていない									
	成度	3 .	. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。								概ね達	成して	เาอ				● 概ね達成し			3				
		4 .	. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。								○ 十分達成している										○ 十分達成している			
		1 .	. 効果に比べてコストが高い。								高い	● 適当		当	団体における事業内容及び社会 貢献から現在の補助額は妥当で					高い	•	適当		
	効率	2 .	. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。							•	できる	る ○ できた		ない	あると思われます。					できる	0	できない		
	性	3 .	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。							0	ある	● ない								○ ಹತ		ない		
		4 .	. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。								ある	(	ない	١				0	ある	•	ない			
											二次評価													
	評値	点点	必要性	有	効性	達成原	芰	効率性	価		必要性		1				効率	生	総	合評	<u>·</u> 価			
			4		4	3		3	A	~ /					4	3	$\overline{}$	3	_	o <b>5</b>	<u> </u>	- FF		
		後性	○ 拡大・矛		<ul><li>頭切</li><li>切</li><li>切</li><li>切</li><li>切</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li><li>り</li></ul>		0		〇 民間委託	<u> </u>			大·充 小	1 -	_	大維持		方法改善	-		多	t寺 ———		
A	יוכ	刊工	○ 細小		統合/終	<b>期</b> 訳		廃止/休止				○ 縮		()   - ½	統合/終			廃止/休		の相違さ	=			
C	ᅶ	面の									+4	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 地域の安全を守るため防犯協会への活動支援は大切です。継続して取り組ん								11組んで				
TI	講		多様化する犯罪に対応した事業活動が必要となります。									域の女主を守るため防犯協会への活動文 うさい。					C10/C1	<i>y</i> ) C 3	o mernol o	C 4X	7 MA70 C			
ō	HZIN	2																						
Ν	改造	<b>革案</b>	DD /7 1/W DD 1	- >= 1#-		- 144 /1	V																	
	と身	€行	関係機関と0 きるよう支援			∮様化する	犯罪	≧を防止できる。	よっな事業内容	を計	画で													
	計	画	こるのノ又技	ا۱۱۱	<u>~ у 。</u>																			
		会																						
	拍捆	事項																						